

アジア高校生架け橋プロジェクト+

1. 創設年度：令和5年度

2. 令和8年度予算額：2.3億円

3. 事業概要

日本や外国の言語や文化を理解し、日本への愛着や誇りを持ちつつ、グローバルな視野で活躍するための資質・能力の育成が求められている。このため、平成30年度から令和4年度に実施してきたアジア高校生架け橋プロジェクトの成果を生かし、アジア諸国を中心に日本語を学ぶ優秀な高校生を日本全国の高校に招聘し、留学生と日本人高校生が共同生活を行い、国際理解を深める機会を創出するとともに、本プロジェクトにおいて招聘した留学生と日本人高校生が交流する「国際交流キャンプ」を開催し、国際的に活躍できる人材育成を推進する。〈補助〉

4. 選定理由：イ（事業の規模が大きく、又は政策の優先度の高いもの）

本事業については、平成30年度から令和4年度に実施してきた「アジア高校生架け橋プロジェクト」の成果を生かし、アジア諸国以外の国からも日本語を学ぶ高校生を日本に招聘するとともに、招聘した留学生と日本人高校生が交流する「国際交流キャンプ」を新たに開催するものであり、グローバルに活躍する人材育成や諸外国との国際交流や相互理解を促進するといった観点から引き続き行っていく必要があるが、次の事業展開を検討するにあたり公開の場で外部有識者の幅広い視点や専門性を活用して検証することで、より効果的・効率的に実施するための手法を検討していくことで改善の余地があると考えため。

5. 想定される論点

グローバル社会における人材育成を引き続き図っていくため、以下の論点で議論を行うことが想定される。

- ・効果的/効率的な事業執行の手法はどのようなものかについて。
- ・事業成果検証のために適切なアウトカム、アウトプットは設定されているか。

※ 成果指標（令和7年度）

1-1（短期アウトカム）・当該事業により高校生を受け入れた高校において、留学に対する意識の変化を在校生から感じると回答した学校の割合（%）

1-2（中期アウトカム）・将来留学したいと思う高校生の割合（%）

1-3（長期アウトカム）・大学等における日本人学生の海外留学生数（人）

2-1（短期アウトカム）・当該事業により日本に招聘した高校生のうち学生や社会人として日本に戻ってきたいと回答した者の割合（％）

2-2（長期アウトカム）・高校段階での外国人留学生数（人）

アジア高校生架け橋プロジェクト +

令和8年度予算額

230百万円

(前年度予算額)

230百万円)



文部科学省

背景・課題

○平成29年の安倍晋三元総理大臣のスピーチを受けて平成30年度から令和4年度にかけて日本語を学ぶアジアの優秀な高校生を半年から10か月程度日本に招致する事業を実施。

○5年間で1,000人の目標に対し、974名の招聘を実現。

【成果】(1期～5期)

- ・留学生が帰国後、日本への印象が良くなったとの回答が91%
- ・帰国生が国費留学生など日本の大学等へ進学 9.2%
- ・日本人高校生の留学生の出身国に対する理解や関心の高まり 90.9%
- ・日本人高校生の語学習得に対する意識の変化 70.8%

【課題】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、対面での地域交流・体験学習等が十分に行えなかった。
- ・学校内の取組から留学生との地域的な交流機会を促進し留学機運の更なる醸成が必要。

【方向性】

- アジア諸国を中心に、より効果的な国際交流の仕組みを構築しつつ、招聘事業を実施
- 留学生と日本人生徒が共同生活を行い、国際理解を深める機会を創出

第5回ASEAN+3教育大臣会合及び第5回EAS(東アジア首脳会議)教育大臣会合(令和3年10月)

アジア高校生架け橋プロジェクトなど、学生の流動性を高める奨学金・交流プログラムに対する日本政府の継続的支援を高く評価する。

「経済財政運営と改革の基本方針2025」(令和7年6月13日閣議決定)(抄)

外国人留学生受入れ年間40万人目標の実現に向け、官民一体での支援策の戦略的活用に取り組む。

インド世界問題評議会 総理政策スピーチ(令和5年3月20日)

アジア高校生架け橋プロジェクトなど各種交流プログラムを強化し、次世代を担う「若者」をつなぎます。

「未来を創造する若者の留学促進イニシアティブ」
教育未来創造会議 第二次提言(令和5年4月27日)(抄)

外国人留学生の受入れを進めることは、引き続き重要

事業内容

- アジア諸国を中心に日本語を学ぶ優秀な高校生100人を5か月程度、日本全国の高校に招聘。
- 全国各地でホームステイや寮生活をしながら日本の高校生と共に学び合い、国際交流を深める。
- 文化体験、地域交流、国内企業での体験学習や視察等を実施。
- 留学生と日本人生徒が参加する国際交流キャンプを実施し、英語交渉や文化発信を含む、高度で効果的な国際交流を促進

- ★グローバル社会における我が国の未来を担う人材育成
- ★互いの国に精通したリーダー、架け橋となる人材の育成
- ★諸外国との国際交流、相互交流、友好親善を促進

- 実施団体：民間団体等
- 事業期間：5年間(令和5年度～令和9年度)
- 支援内容：招聘生の選考・研修に係る経費、渡航費、高校やホストファミリーでの受入に係る経費、国際交流キャンプの実施に伴う経費等

世界各国から日本へ優秀な留学生を受入

地域交流 文化体験

各高校での交流

ホームステイ 寮生活

国際交流キャンプへ参加

国際交流プラットフォームの構築

異文化理解・架け橋となる人材育成
持続的な留学機運の醸成

アウトプット(活動目標・指標)

- ・事業により、日本に招聘した高校生数

短期アウトカム(成果目標)

- ・学生・社会人として日本に再来日を希望する外国人高校生の増加
- ・将来留学したいと思う高校生の増加

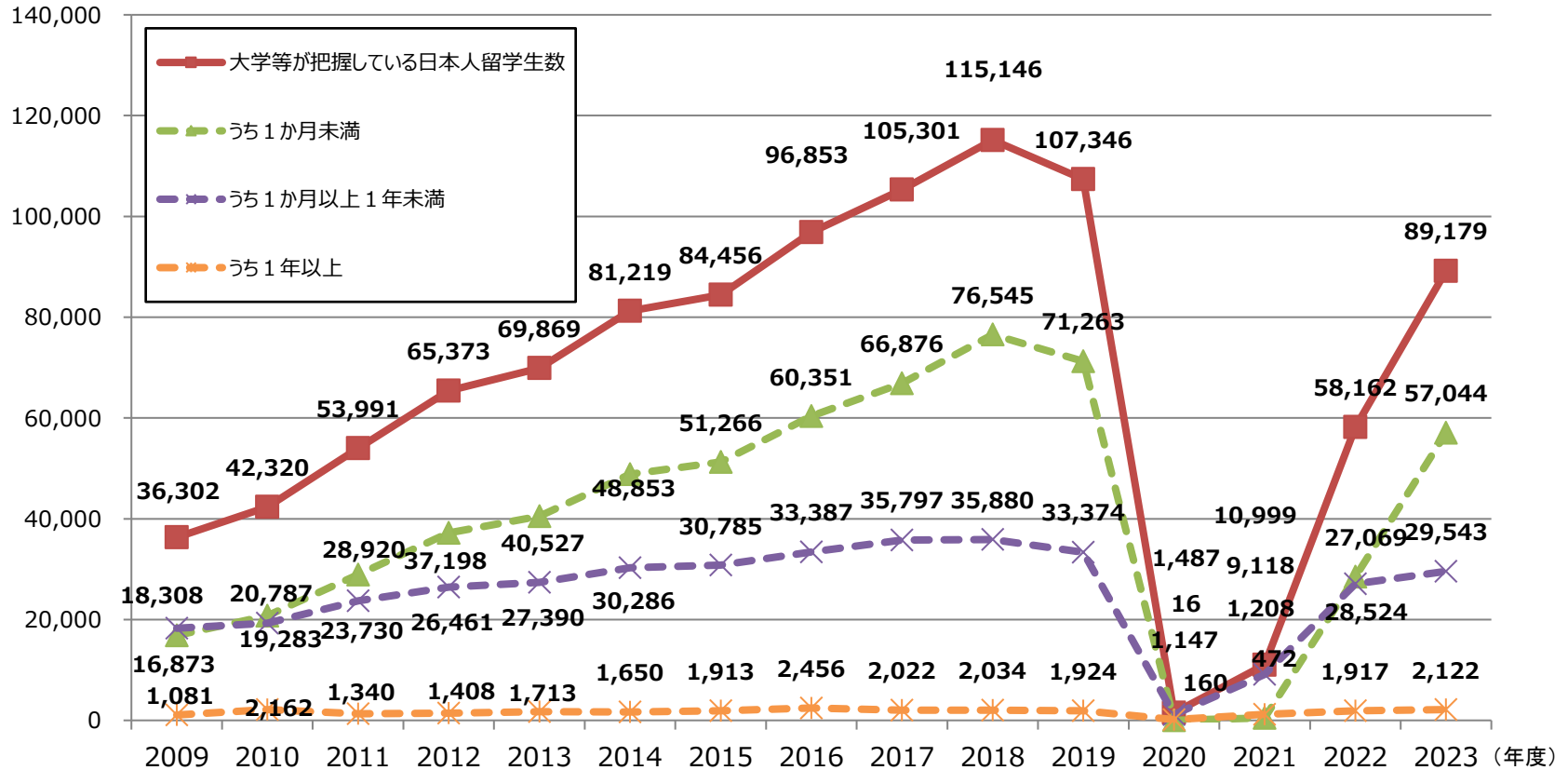
長期アウトカム(成果目標)

- 2033年までに
- ・高校段階での外国人留学生数を2万人にする
- ・日本人高校生の海外留学生数を12万人にする

(担当：総合教育政策局国際教育課)

日本の大学等が把握する日本人留学生数

推移 (留学生数:人)



留学先国地域別

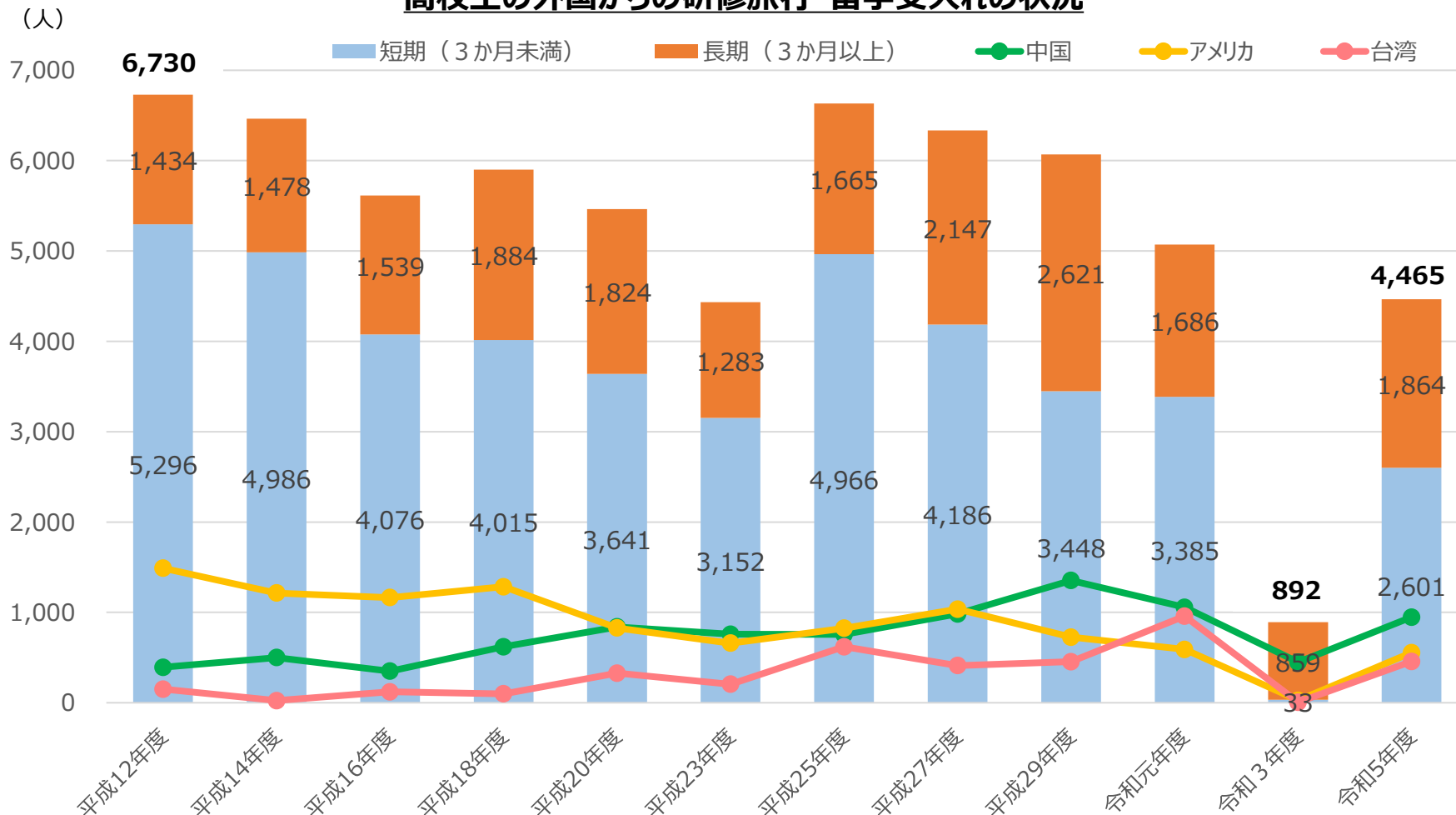
国・地域名	留学生数 (前年)	割合 (前年)	国・地域名	留学生数 (前年)	割合 (前年)
アメリカ合衆国	13,517 (11,880)	15.2% (20.4%)	タイ	4,396 (2,529)	4.9% (4.3%)
オーストラリア	9,163 (6,187)	10.3% (10.6%)	フィリピン	3,200 (1,620)	3.6% (2.8%)
韓国	8,384 (4,679)	9.4% (8.0%)	中国	3,133 (417)	3.5% (0.7%)
カナダ	7,621 (6,735)	8.5% (11.6%)	フランス	3,022 (1,929)	3.4% (3.3%)
台湾	5,048 (1,793)	5.7% (3.1%)	その他	26,658 (16,968)	29.9% (29.2%)
英国	5,037 (3,425)	5.6% (5.9%)	合計	89,179 (58,162)	100.0% (100.0%)

(出典) 日本学生支援機構「日本人学生留学状況調査」

高等学校等の国際交流状況（海外からの受入れ）（令和5年度）

○令和5年度は、コロナの影響を受けて892人と激減した令和3年度に比べると、4,465人（短期2,601人・長期1,864人）と大幅に回復したが、特に短期の戻りが少なく、最も多い年度に比べると約2千3百人少ない。

高校生の外国からの研修旅行・留学受入れの状況



（備考）短期の研修旅行生数、留学生数は延べ数。令和5年度は専修学校高等課程を含む。（出典）文部科学省「高等学校等における国際交流等の状況について」より作成。

アジア高校生架け橋プロジェクト+

基本情報

組織情報	府省庁	文部科学省				
	事業所管課室	文部科学省 総合教育政策局 国際教育課 国際理解教育係				
	作成責任者	釜井宏行				
	その他担当組織	--				
基本情報	予算事業ID	005751	事業開始年度	2023	事業終了（予定）年度	2027
	事業年度	2025	事業区分	前年度事業		
政策・施策	政策所管	政策	施策			政策体系・評価書URL
	文部科学省	1 3 豊かな国際社会の構築に資する国際交流・協力の推進	1 3 - 1 国際交流の推進			https://www.mext.go.jp/content/20240527-mxt_kanseisk01-000036110_01.pdf
関連事業	--		主要経費	教育振興助成費		
概要・目的	事業の目的	日本や外国の言語や文化を理解し、日本への愛着や誇りを持ちつつ、グローバルな視野で活躍するための資質・能力の育成が求められている。このため、平成30年度から令和4年度に実施してきたアジア高校生架け橋プロジェクトの成果を生かし、アジア諸国を中心に日本語を学ぶ優秀な高校生を日本全国の高校に招聘し、留学生と日本人高校生が共同生活を行い、国際理解を深める機会を創出するとともに、本プロジェクトにおいて招聘した留学生と日本人高校生が交流する「国際交流キャンプ」を開催し、国際的に活躍できる人材育成を推進する。				
	現状・課題	令和6年度事業においては、100名の招聘を実施した。 来日した留学生へのアンケート調査結果は ・日本の高校生との交流について、「非常に満足」、「やや満足」と回答した者が88.4% ・学生や社会人として日本に戻ってきたいと回答した者が、77.9%となっている。 また、国際交流キャンプでは、留学生と日本人高校生が寝食を共にしながら共通のテーマについて協議を行った。 引き続き、本事業の実施を通じて留学生との交流機会を促進し、留学機運の醸成を図っていくことが必要である。				
	事業の概要	アジア諸国を中心に日本語を学ぶ優秀な高校生を日本全国の高校に招聘する。日本各地でホームステイや寮生活をしながら、日本の高校生と共に学び合い、国際交流を深める。また、招聘した留学生と日本人高校生が参加する「国際交流キャンプ」を実施し、より効果的に国際交流体験を推進する。これにより、日本の高校生の留学意欲や異文化理解が促進されるとともに、当該事業の国際交流を通して、互いの国に精通したリーダー、架け橋となる人材を育成することを目指す。				
	事業概要URL	https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/ryugaku/koukousei/1323960.htm				

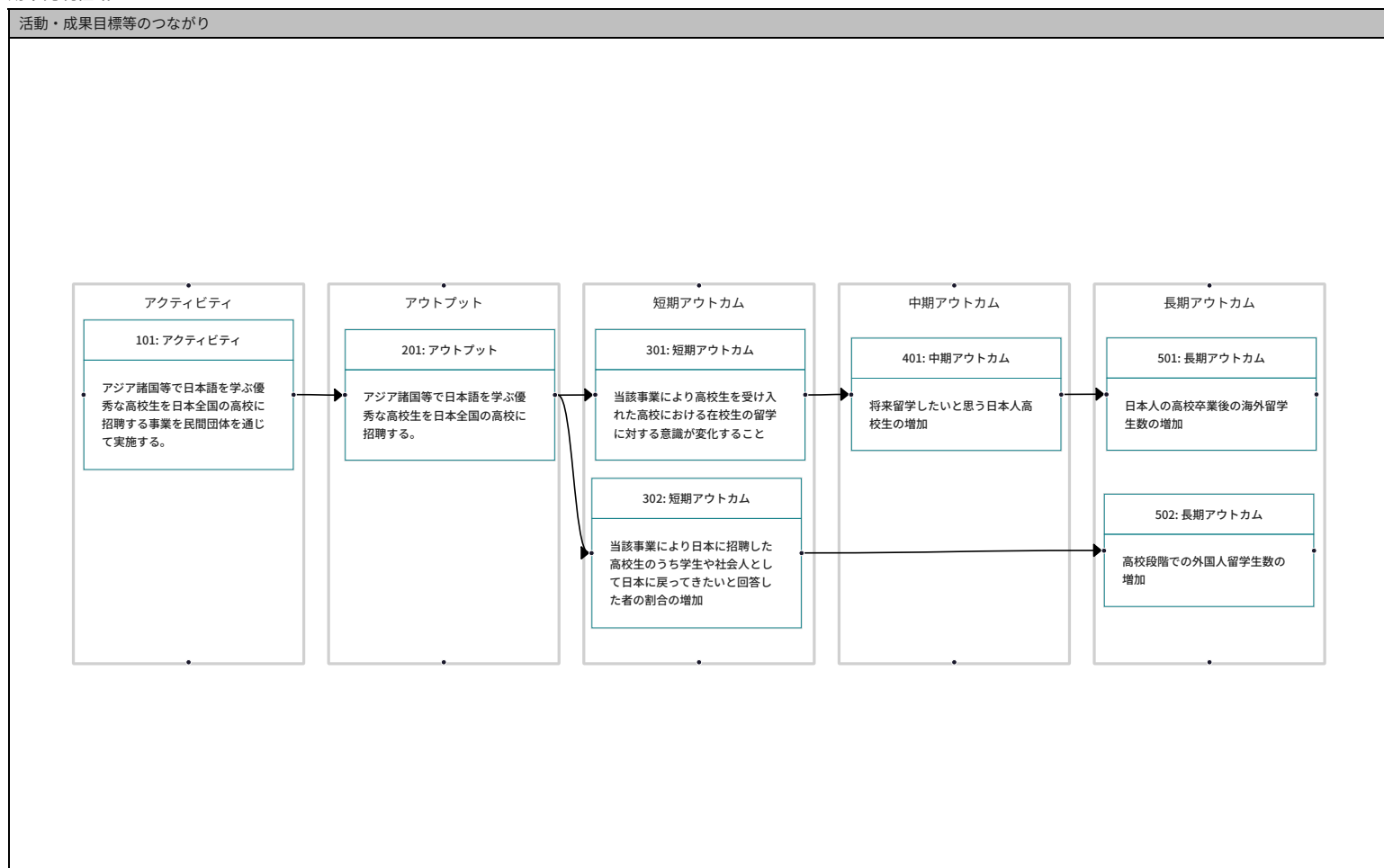
根拠法令	法令名	法令番号	条	項	号・号の細分
	--	--	--	--	--
関係する計画・通知等	計画・通知名	計画・通知等URL			
	「第4期教育振興基本計画」令和5年6月16日閣議決定	https://www.mext.go.jp/a_menu/keikaku/index.htm			
	教育未来創造会議「未来を創造する若者の留学促進イニシアティブ」（第二次提言）令和5年4月27日	https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kyouikumirai/pdf/230427honbun.pdf			
実施方法	補助				
補助率等	補助対象	補助率	補助上限等	補助率URL	
	対象事業者：民間団体	10/10	予算の範囲内で定額補助	--	
備考	※なお、金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。				

予算・執行

予算額執行額表 (単位：千円)		2022	2023	2024	2025	2026
	要求額	--	195,100	456,400	236,461	230,282
	当初予算	0	176,000	232,266	230,282	--
	補正予算	--	--	--	--	--
	前年度から繰越し	--	--	--	--	--
	予備費等	--	--	--	--	--
	計	0	176,000	232,266	230,282	--
	執行額	--	175,936	232,187	--	--
執行率	--	100%	100%	--	--	

予算内訳表 (単位：千円)	会計区分	会計	勘定	要望額	備考		
	一般会計	一般会計	--	--	--	--	
		予算種別/歳出予算項目			備考	予算額	翌年度要求額
		当初予算 一般会計 / 文部科学省 / 文部科学本省 / 国際交流・協力推進費 / 国際文化交流促進費補助金			--	229,760	229,709
		当初予算 一般会計 / 文部科学省 / 文部科学本省 / 国際交流・協力推進費 / 職員旅費			--	342	389
	当初予算 一般会計 / 文部科学省 / 文部科学本省 / 国際交流・協力推進費 / 委員等旅費			--	123	127	
	当初予算 一般会計 / 文部科学省 / 文部科学本省 / 国際交流・協力推進費 / 諸謝金			--	57	57	
主な増減理由	--			その他特記事項	--		

効果発現経路



アクティビティからの発現経路 101-201-301-401-501

アクティビティ	アジア諸国等で日本語を学ぶ優秀な高校生を日本全国の高校に招聘する事業を民間団体を通じて実施する。									
アウトプット	活動目標	アジア諸国等で日本語を学ぶ優秀な高校生を日本全国の高校に招聘する。		活動指標	当該事業により日本に招聘した高校生数					
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	2024年度実績: 2024年度アジア高校生架け橋プロジェクト+において日本に招聘した生徒数					
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--					
活動・成果目標と実績		2023年度		2024年度		2025年度				
	当初見込み/目標値(人)	50		100		100				
	活動実績/成果実績(人)	58		100		--				
↓後続アウトカムへのつながり	当該事業により日本に招聘した高校生と接した日本の高校生の留学への意識の変化を図る目標として設定。									
短期アウトカム	成果目標	当該事業により高校生を受け入れた高校における在校生の留学に対する意識が変化すること			成果指標	当該事業により高校生を受け入れた高校において、留学に対する意識の変化を在校生から感じると回答した学校の割合				
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--			実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	成果指標: 事業実施団体による高校生を受け入れた高校へのアンケート 目標値: 前身事業における同じ質問への回答率が61.3%となっていることから、この回答率を上回る割合を目標とする。				
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--			アウトカムを複数段階で設定できない理由	--				
活動・成果目標と実績		2023年度		2024年度		2025年度		2026年度		目標年度 2027年度
	当初見込み/目標値(%)	70		70		70		70		70
	活動実績/成果実績(%)	82.1		63		--		--		--
	達成率(%)	117.3		90		--		--		--
↓後続アウトカムへのつながり	当該事業により全国の高校に招聘した留学生在が日本の高校生と共に学び合い、国際交流を深めることにより、日本の高校生の留学生の増加につながっているかを測る目標として設定。									

中期アウトカム	成果目標	将来留学したいと思う日本人高校生の増加					成果指標	将来留学したいと思う高校生の割合				
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--					実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	成果実績: 文部科学省調査「高等学校等における国際交流等の状況について」 目標値: <2023年度>文部科学省調査「高等学校等における国際交流の状況について」における2017年度調査結果(過去最高値として設定) <2033年度>新型コロナウイルス流行による影響が出る前の2017年度時点における留学したいと思う高校生数及び実際の留學生数から、第4期教育振興基本計画(令和5年6月16日閣議決定)における2033年の目標である120,000人を達成するために必要な留学したいと思う高校生の割合を設定 ※調査は隔年実施、2024年度に2023年度の調査実施。				
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--					アウトカムを複数段階で設定できない理由	--				
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	目標年度 2033年度	
	当初見込み/目標値(%)	--	36.8	--	36.8	--	--	--	--	--	94	
	活動実績/成果実績(%)	--	34.8	--	--	--	--	--	--	--	--	
	達成率(%)	--	94.6	--	--	--	--	--	--	--	--	
↓後続アウトカムへのつながり	当該事業による、日本の高校生の留学意欲向上が実際の留學生数の増加につながっているかを測る目標として設定。											

長期アウトカム	成果目標	日本人の高校卒業後の海外留学生数の増加			成果指標	大学等における日本人学生の海外留学生数					
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--			実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	成果実績： 独立行政法人日本学生支援機構調査「日本人学生留学状況調査結果」 目標値： 「日本人学生留学状況調査結果」における2018年度調査結果(過去最高値として設定) <2033年度>第4期教育振興基本計画における2033年度の目標人数					
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--			アウトカムを複数段階で設定できない理由	--					

活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	最終目標年度 2033年度
	当初見込み/目標値(人)	115,146	115,146	115,146	115,146	--	--	--	--	--	--
活動実績/成果実績(人)	58,162	89,179	--	--	--	--	--	--	--	--	--
達成率(%)	50.5	77.4	--	--	--	--	--	--	--	--	--

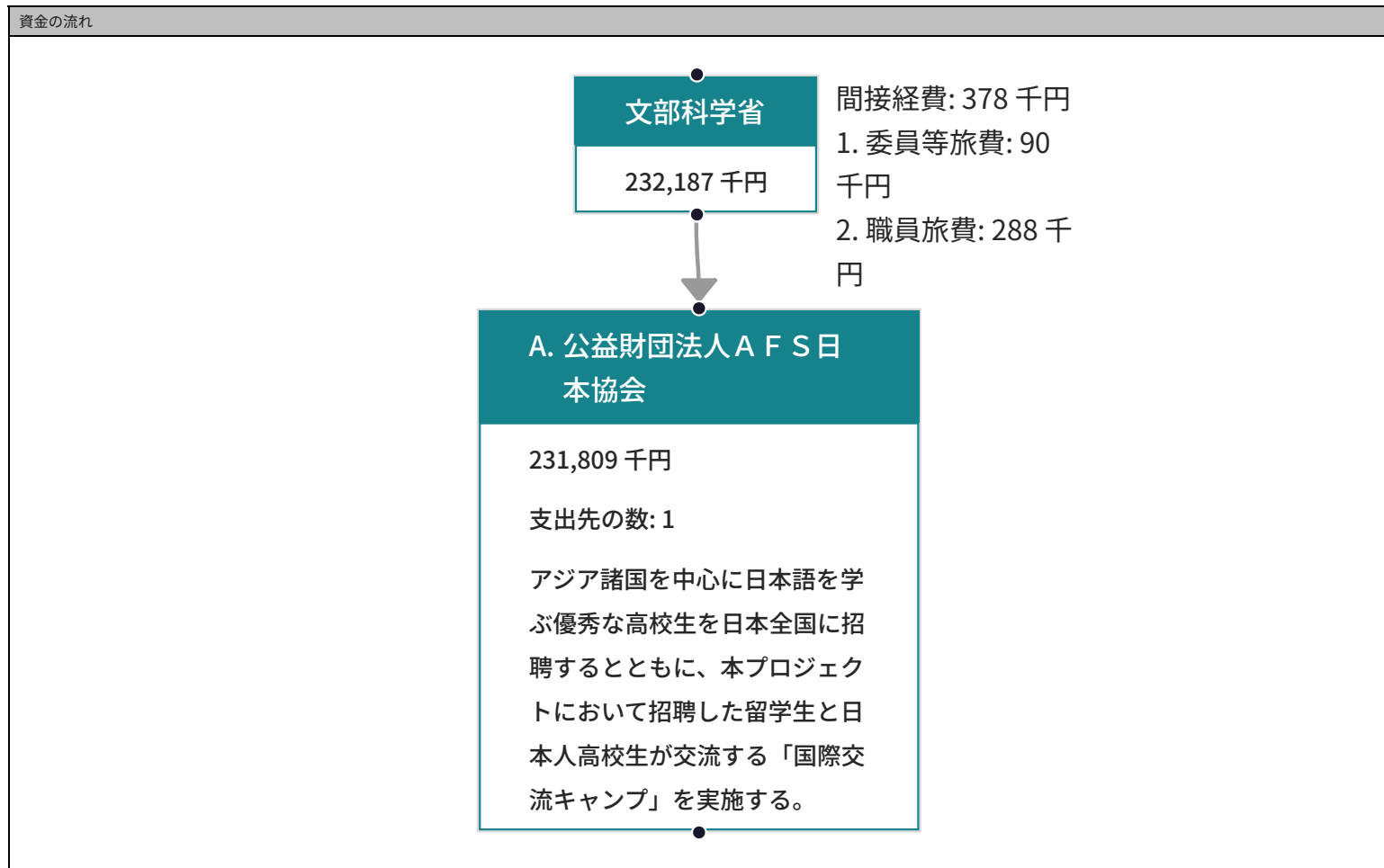
アクティビティからの発現経路 101-201-302-502

アクティビティ	アジア諸国等で日本語を学ぶ優秀な高校生を日本全国の高校に招聘する事業を民間団体を通じて実施する。										
アウトプット	活動目標	アジア諸国等で日本語を学ぶ優秀な高校生を日本全国の高校に招聘する。			活動指標	当該事業により日本に招聘した高校生数					
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--			実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	2024年度実績：2024年度アジア高校生架け橋プロジェクト+において日本に招聘した生徒数					
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--			アウトカムを複数段階で設定できない理由	--					
活動・成果目標と実績		2023年度			2024年度			2025年度			
	当初見込み/目標値(人)	50			100			100			100
	活動実績/成果実績(人)	58			100			100			--
↓後続アウトカムへのつながり	当該事業により日本に招聘した高校生の再来日の意欲を図る目標として設定。										
短期アウトカム	成果目標	当該事業により日本に招聘した高校生のうち学生や社会人として日本に戻ってきたいと回答した者の割合の増加			成果指標	当該事業により日本に招聘した高校生のうち学生や社会人として日本に戻ってきたいと回答した者の割合					
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--			実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	成果指標：事業実施団体による参加者へのアンケート 目標値：前身事業最終年度における同じ質問への回答率は80.9%となっていることから、当該事業により招聘した高校生のうち、90%が日本に戻ってきたいと回答することを目標とする。					
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--			アウトカムを複数段階で設定できない理由	--					
活動・成果目標と実績		2023年度		2024年度		2025年度		2026年度		目標年度 2027年度	
	当初見込み/目標値(%)	90		90		90		90		90	
	活動実績/成果実績(%)	84.5		77.9		--		--		--	
	達成率(%)	93.9		86.6		--		--		--	
↓後続アウトカムへのつながり	当該事業により日本に招聘した高校生の再来日意欲の向上が実際の留学生の増加につながっているかを測る指標として設定										

長期アウトカム	成果目標	高校段階での外国人留学生数の増加					成果指標	高校段階での外国人留学生数				
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--					実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	成果指標: 文部科学省調査「高等学校等における国際交流等の状況について」 目標値: <2023年度>文部科学省調査「高等学校等における国際交流の状況について」における2015年度実績(過去最高値として設定) <2033年度>第4期教育振興基本計画における2033年の目標人数				
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--					アウトカムを複数段階で設定できない理由	--				
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	最終目標年度 2033年度	
	当初見込み/目標値(人)	--	6,631	--	6,631	--	--	--	--	--	20,000	
	活動実績/成果実績(人)	--	4,465	--	--	--	--	--	--	--	--	
	達成率(%)	--	67.3	--	--	--	--	--	--	--	--	
事業に関連するKPIが定められている閣議決定等	名前	--										
	URL	--										
	該当箇所	--										

点検・評価

事業所管部局による点検・改善	点検結果	学生や社会人として日本に戻ってきたいと回答した者の割合は来日した留学生の77.9%と目標を下回っているが、日本の高校生との交流に対しては、88.4%の留学生が満足している。 今後とも、初等中等教育段階におけるグローバル人材の育成に向け、事業が効果的に実施されるよう、一層の工夫が必要である。 令和6年度の執行率はほぼ100%と計画通りの事業実施となった。									
	目標年度における効果測定に関する評価	--									
	改善の方向性	引き続き、効率的な経費の執行に努めながら、隔年で実施している「高等学校等における国際交流等の状況調査」や事業者が実施するアンケート結果を踏まえ、事業効果の最大化を図っていく。									
外部有識者による点検	点検対象	外部有識者による点検対象外	最終実施年度	2024							
	対象の理由	--									
	所見	--									
	公開プロセス結果概要	--									
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	所見	事業内容の一部改善	詳細	達成率が100%に達していない項目がいくつか見受けられ、前年度比で下がったものもあるので、設定が適切かどうか等適宜検討すべきである。							
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況	改善点・反映状況	執行等改善									
	反映額	会計	勘定	反映額(千円)							
	詳細	--									
公開プロセス・秋の年次公開検証(秋のレビュー)における取りまとめ	--										
その他の指摘事項	--										



支出先上位者リスト (単位: 千円)	支出先ブロック名	合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割		
A	公益財団法人 AFS 日本協会	231,809	1	アジア諸国を中心に日本語を学ぶ優秀な高校生を日本全国に招聘するとともに、本プロジェクトにおいて招聘した留学生と日本人高校生が交流する「国際交流キャンプ」を実施する。		
	支出先名	支出額	法人番号			
	公益財団法人 AFS 日本協会	231,809	5010405009242			
	契約概要 (契約名) / 契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策 / 落札率非公開の理由	
	アジア高校生架け橋プロジェクト+補助金等交付	231,809	1	--	--	
費目・使途 (単位: 千円)	支出先名	契約概要 (契約名)	費目	使途	金額	
A	公益財団法人 AFS 日本協会	アジア高校生架け橋プロジェクト+	雑役務費	広報宣伝費等	88,940	
--	--	--	賃金	職員賃金等	75,034	
--	--	--	消耗品費	教育研修費等	33,935	
--	--	--	旅費	生徒等交通費	28,748	
--	--	--	通信運搬費	生徒用の携帯電話費等	3,206	
--	--	--	諸謝金	サポート報酬費等	1,343	
--	--	--	印刷製本費	日本語学習支援教材等の印刷製本費	602	
国庫債務負担行為等による契約 先リスト (単位: 千円)	契約先名	契約額	法人番号			
	--	--	--			

その他備考

--